

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長田東1丁目計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	大阪市東大阪市長田東	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	102人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年7月22日
敷地面積	606㎡	作成者	株式会社アーキ・テック設計事務所 野嶋 一広
建築面積	274㎡	確認日	2024年7月22日
延床面積	3,111㎡	確認者	株式会社アーキ・テック設計事務所 西村 昌高



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
建物周囲に空地を設け、可能な限り緑化をする事で良好な市街地形成を目指している。 建物利用者の快適な生活環境を維持する為、F☆☆☆☆の内装材を使用し、また、LED照明の採用、節水器具の使用など資源の有効利用を心がけている。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> 室内空間に採光確保できるよう昼光率に配慮している。 全体的にF☆☆☆☆建材を使用し、24時間換気とする事で、ホルムアルデヒドの発散を抑えた室内環境としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるようGbit(ギガビット)クラスのブロードバンド対応とし、機能性に努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> できる限り敷地内の緑化に努め、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した計画を目指している。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部にLED照明器具を採用等、設備システムの効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の水栓、便器を採用し資源の有効利用に努めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建物以下 換算スコア=3.2

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)長田東1丁目計画 新築工事					
建設地		大阪府東大阪市長田東					
用途/区分		集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	断熱性能					3	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			3	
④	エネルギー消費性能					4	
		建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			1	
		評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】							
項目		評価内容				スコア	評価
① CO2削減		CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮				3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	
③ 断熱性能		CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	3
④ エネルギー消費性能		CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							